

**医学教育分野別評価
信州大学医学部医学科
年次報告書
2024年度**

評価受審年度 2020（令和2）年

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
1. 使命と学修成果	1. 1 使命	判定：適合

改善のための助言
・ 医学部の使命、3 ポリシー、学修成果の整合性をより明確にし、大学の構成者と関係者に明示すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	カリキュラム・ポリシーと実際に行われている教育との整合性をさらに高めるため、医学教育会議において検証している。 次回の改訂を目途に使命と学修成果の策定にあたり、医学教育会議で議論を始める予定である。	引き続き、検証し、学修成果の整合性をより明確にしていく。	
令和 4 (2022)	医学教育会議において、DP、CP との関連性を確認し、カリキュラム・ポリシーと実際に行われている教育との整合性をさらに高め、カリキュラムマップを作成した。	ディプロマ・サプリメントを発行し、ディプロマ・ポリシーと学修成果の整合性を明示するための準備を進める。	資料 1：医学教育研修センター会議報告_R4.12.1
令和 5 (2023)	ディプロマ・ポリシーと学習成果の整合性を明示するための、ディプロマ・サプリメントを発行した。	学生および関係者への周知を行っていく。	資料 1：ディプロマ・サプリメント確認方法

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
1. 使命と学修成果	1. 1 使命	判定：適合

改善のための示唆
・ 国際レベルでの健康問題、不平等による健康への影響についても使命に包含することが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	次回の改訂を目途に使命と学修成果の策定にあたり、医学教育会議で議論を始める予定である。	策定にあたり、引き続き議論を重ねて行く。	
令和 4 (2022)	次回の改訂を目途に使命と学修成果の策定にあたり、医学教育会議で議論を行う。	策定にあたり、引き続き議論を重ねて行く。	
令和 5 (2023)	到達目標において、国際保健・医療に関する記載を追加した。	策定した到達目標の周知を継続して行っていく。	資料 2：医学教育研修センター会議報告_R5.11.2

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
1. 使命と学修成果	1. 3 学修成果	判定：適合

改善のための助言
・2019 年に設定された学修成果（コンピテンシー）の概要を学生・教職員に十分に周知すべきである。 ・学生が学生同士、教員、医療従事者、患者、およびその家族を尊重し適切な行動をとるために、適切な行動指針を学則または行動規範等に明記すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・学生便覧に記載し学生・教職員に配付している。 ・基本理念、教育理念に基づきコンピテンシーを定めている。	・引き続き、学年ガイダンス等で周知する。 ・学生が学生同士、教員、医療従事者、患者、およびその家族を尊重し適切な行動をとるために、基本理念、教育理念に基づき適切な行動指針を検討する。	資料 1：2022 年度学生便覧
令和 4 (2022)	コンピテンシーは学生便覧及び医学部ホームページに掲載し、周知している。	附属病院の職業倫理方針を参考に、医学科の基本理念と整合性のある行動指針を作成する。	資料 2：2023 年度学生便覧
令和 5 (2023)	学生アンケートにコンピテンシーに関する内容を盛り込み、周知を図った。 次回の改訂を目途に行動指針の策定にあたり、医学教育会議で議論を行う。	策定にあたり、引き続き議論を重ねて行く。	資料 3：「授業アンケート」集計結果

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
1. 使命と学修成果	1. 3 学修成果	判定：適合

改善のための示唆
・地域医療・保健のみならず、国際保健・医療等に関しても到達目標に含まれることが期待される。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	諸外国の学生との学生交流により、学生の保健領域での国際感覚が養われている。 次回の改訂を目途に使命と学修成果の策定にあたり、到達目標について医学教育会議で議論を始める予定である。	コンピテンシーおよび医学科卒業時の到達目標に国際保健を独立項目として取り入れるかを引き続き検討する。	
令和 4 (2022)	モデル・コア・カリキュラムの令和 4 年度改訂に伴い、使命と学修成果の策定にあたり、到達目標について検討する。	国際保健に関して医学科卒業時の到達目標に取り入れ、令和 5 年度中の策定を目指す。	
令和 5 (2023)	国際保健に関して検討を行い、医学科卒業時の到達目標に取り入れた。	策定した到達目標の周知を行っていく。	資料 2：医学教育研修センター会議報告_R5.11.2

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

(評価受審年度 2020 (令和 2) 年)

項目	評価項目	基本的水準
1. 使命と学修成果	1. 4 使命と成果策定への参画	判定：部分的適合

改善のための助言
・ 使命と学修成果の策定にあたっては、教育に関わる主要な構成者が十全に参画し、十分に議論を重ねるべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	次回の改訂を目途に使命と学修成果の策定にあたり、医学教育会議で議論を始める予定である。	策定にあたり、引き続き議論を重ねて行く。	
令和 4 (2022)	次回の改訂を目途に使命と学修成果の策定にあたり、医学教育会議で議論を行う。	策定にあたり、引き続き議論を重ねて行く。	
令和 5 (2023)	次回の改訂を目途に使命と学修成果の策定にあたり、医学教育会議で議論を行う。	策定にあたり、資する資料の収集を行う。	

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
1. 使命と学修成果	1. 4 使命と成果策定への参画	判定：部分的適合

改善のための示唆
・ 次回の改訂に際しては、継続的に多様な関係者の意見を幅広く聴取し、改訂に反映することが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	次回の改訂を目途に使命と学修成果の策定にあたり、医学教育会議等で議論を始める予定である。	策定にあたり、引き続き議論を重ねて行く。	
令和 4 (2022)	モデル・コア・カリキュラムの令和 4 年度改訂に伴い、使命と学修成果の策定にあたり、検討する。また、多様な関係者の意見を幅広く聴取するため、医学教育会議に教員と学生以外の教育の関係者として、医療職関係者、患者代表を委員に加えた。	策定にあたり、引き続き議論を重ねて行く。	資料 3：医学教育研修センター医学教育会議委員名簿
令和 5 (2023)	次回の改訂を目途に使命と学修成果の策定にあたり、医学教育会議で議論を行う。	策定にあたり、資する資料の収集を行う。	

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
2. 教育プログラム	2. 1 教育プログラムの構成	判定：適合

改善のための助言
・学修成果基盤型教育を確実に実施するために、各科目とコンピテンシーの関係、各科目の関係を明確化すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	2021 年度入学生よりカリキュラムの水平・垂直統合をさらに進める新カリキュラムを検討し、実施している。	大学 DP と医学科 DP との関連性にあわせコンピテンシーとの関係、各科目との関係を明記した、カリキュラムマップを作成する。	資料 2：履修チャート
令和 4 (2022)	医学教育会議において、DP、CP との関連性を確認し、カリキュラムマップの作成段階で各科目とコンピテンシーの関係、各科目の関係を明確化した。	令和 5 年度学生便覧にカリキュラムマップを掲載し、周知する。	資料 1：医学教育研修センター会議報告_R4.12.1 資料 4：医学部医学科カリキュラムマップ 資料 5：新カリキュラム星取表（総覧）
令和 5 (2023)	令和 5 年度学生便覧にカリキュラムマップを掲載し、周知を行った。	各科目とコンピテンシーの関係について、明確化を行う。	資料 4：2023 年度学生便覧

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

(評価受審年度 2020 (令和 2) 年)

項目	評価項目	基本的水準
2. 教育プログラム	2. 2 科学的方法	判定：適合

改善のための助言
・臨床実習で学生が EBM を実践的に学ぶ機会を増やすべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	150 通りで原則小施設の総合内科、総合診療科あるいは救急科を回れるように変更した。	引き続き、EBM を実践的に学ぶ機会を増やすことを検討する。	資料 3 : 「150 通りの選択肢からなる参加型臨床実習」コース表
令和 4 (2022)	引き続き、150 通りで原則小施設の総合内科、総合診療科あるいは救急科を回れるように実施している。 また、本学附属病院の診療科（外科手技の実施等を除く）で学ぶことにより EBM を実践的に学んでいる。	引き続き、EBM を実践的に学ぶ機会を増やすことを検討する。	資料 6 : 「150 通りの選択肢からなる参加型臨床実習」コース表
令和 5 (2023)	150 通りで原則小施設の総合内科、総合診療科あるいは救急科を回れる病院を増やし、引き続き実施している。 また、本学附属病院の診療科（外科手技の実施等を除く）で学ぶことにより EBM を実践的に学んでいる。	EBM を実践する機会を増やす仕組みについて検討する。	資料 5 : 「150 通りの選択肢からなる参加型臨床実習」コース表

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
2. 教育プログラム	2. 3 基礎医学	判定：適合

改善のための助言
・臨床医学の基盤としての基礎医学の重要性を学生が認識できるよう、基礎医学領域で取り入れるべき学修課題を明確にし、カリキュラムを工夫すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・新カリキュラム導入後、学生や教員の意見収集、問題点抽出を続けている。 ・基礎医学教室と臨床医学教室が互いの専門性を生かし、より柔軟に学生教育を行えるよう、検討を行っている。	・医学教育研修センターが中心となり、引き続き検討を行う。	資料 4：カリキュラム評価委員会会議 報告_R03.9.27 資料 5：カリキュラム評価委員会会議 報告_R4.03.14
令和 4 (2022)	学生も委員として参画しているカリキュラム評価委員会において、学修課題を明確にし、カリキュラムを検討・修正している。	医学教育研修センターが中心となり、引き続き検討を行う。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議 報告_R5.3.13 資料 8：本学カリキュラムにおける学修課題の検討について
令和 5 (2023)	次回の改訂を目途に、カリキュラム評価委員会で議論を行う。	策定にあたり、引き続き議論を重ねて行く。	資料 6：カリキュラム評価委員会会議 報告_R5.8.30 資料 7：カリキュラム評価委員会会議 報告_R6.3.27

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

(評価受審年度 2020 (令和 2) 年)

項目	評価項目	質的向上のための水準
2. 教育プログラム	2. 3 基礎医学	判定：部分的適合

改善のための示唆
・ 現在および将来において、社会や医療制度上必要となることを検討し、基礎医学教育カリキュラムに取り入れることが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	社会や医療制度上必要となることを検討し、新カリキュラムの中に組み込むことを検討中である。	現在および将来的に社会や医療システムにおいて必要とされる内容について引き続き検討し、組み入れていく。	
令和 4 (2022)	カリキュラム評価委員会において、検討を始めた。	現在および将来的に社会や医療システムにおいて必要とされる内容について引き続き検討し、組み入れていく。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議 報告_R5.3.13 資料 8：本学カリキュラムにおける学 修課題の検討について
令和 5 (2023)	次回の改訂を目途に、カリキュラム評価委員会で議論を行う。	策定にあたり、引き続き議論を重ねて行く。	

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
2. 教育プログラム	2. 4 行動科学と社会医学、医療倫理学と医療法学	判定：部分的適合

改善のための助言
・行動科学については、責任者あるいは統轄する委員会のもと、系統的に教育すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	行動科学における、系統的な教育について、検討中である。	医学教育研修センターを中心に新カリキュラム導入後も行動科学の必要性や社会状況変化に合わせ、より包括的な授業体系について検討する。	
令和 4 (2022)	カリキュラム評価委員会において、検討を始めた。	医学教育研修センターを中心に新カリキュラム導入後も行動科学の必要性や社会状況変化に合わせ、より包括的な授業体系について、引き続き検討する。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13 資料 8：本学カリキュラムにおける学修課題の検討について
令和 5 (2023)	新カリキュラムにおいて、系統的に授業を実施した。	さらに必要なことを検討し、カリキュラムに取り入れる。	資料 8：シラバス（消化器、糖尿病・内分泌・代謝）

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
2. 教育プログラム	2. 4 行動科学と社会医学、医療倫理学と医療法学	判定：部分的適合

改善のための示唆
・現在および将来において、社会や医療制度上必要となることを検討し、行動科学、社会医学、医療倫理学、医療法学領域で取り入れるべき学修課題を明確にし、6 年一貫医学教育カリキュラムに取り入れることが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	行動科学、社会医学、医療倫理学、医療法学領域で取り入れるべき学修課題について、検討中である。	取り入れるべき学習課題について、引き続き検討する。	
令和 4 (2022)	カリキュラム評価委員会において、検討を始めた。	取り入れるべき学習課題について、引き続き検討する。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13 資料 8：本学カリキュラムにおける学修課題の検討について
令和 5 (2023)	カリキュラム評価委員会において、検討を行う。	取り入れるべき学習課題について、引き続き検討する。	

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

(評価受審年度 2020 (令和 2) 年)

項目	評価項目	基本的水準
2. 教育プログラム	2. 5 臨床医学と技能	判定：適合

改善のための助言
・ 学生全員がプライマリ・ケアを含む重要な診療科での実習を診療参加型で行えるようにカリキュラムを工夫すべきである。 ・ 臨床実習で健康増進や予防医学の体験ができる機会を設けるべきである。 ・ 学生への standard precaution の教育を 1 年次の早期体験実習前に開始すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・ 令和 3 年度から施行された新カリキュラムにおける 1 年次科目の医学概論 I にて、感染制御室教員の教員から感染症について学ぶ授業回を設定し、早期体験実習前に標準予防策について教授している。 ・ 150 通りで原則小施設の総合内科、総合診療科あるいは救急科を回れるように変更した。 ・ 新入生ゼミナールで感染症対策について教授している。また、フォローアップでより参加し易くした。	臨床実習で健康増進や予防医学の体験ができる機会を検討する。	資料 6：シラバス（医学概論 I） 資料 3：「150 通りの選択肢からなる参加型臨床実習」コース表 資料 7：シラバス（新入生ゼミナール）
令和 4 (2022)	以下について、継続的に実施している。 ・ 1 年次科目の医学概論 I にて、感染制御室の教員から感染症について学ぶ授業回を	臨床実習で健康増進や予防医学の体験ができる機会を検討する。	資料 9：シラバス（医学概論 I） 資料 6：「150 通りの選択肢からなる参加型臨床実習」コース表

	設定し、早期体験実習前に標準予防策について教授している。 ・150 通り実習で原則小施設の総合内科、総合診療科あるいは救急科を回れるように変更している。		
令和 5 (2023)	以下について、継続的に実施している。 ・1 年次科目の医学概論 I にて、感染制御室の教員から感染症について学ぶ授業回を設定し、早期体験実習前に標準予防策について教授している。 ・150 通り実習で原則小施設の総合内科、総合診療科あるいは救急科を回れるように変更している。	取り入れるべき学習課題について、引き続き検討する。	資料 9：シラバス（医学概論 I） 資料 5：「150 通りの選択肢からなる参加型臨床実習」コース表

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
2. 教育プログラム	2. 5 臨床医学と技能	判定：部分的適合

改善のための示唆
・ 現在および、将来において社会や医療制度上必要となることを検討し、臨床医学領域で取り入れるべき学修課題を明確にし、6 年一貫医学教育カリキュラムに取り入れることが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	臨床医学領域で取り入れるべき学修課題について、検討中である。	臨床医学領域で取り入れるべき学修課題を引き続き検討する。	
令和 4 (2022)	カリキュラム評価委員会において、検討を始めた。	臨床医学領域で取り入れるべき学修課題を引き続き検討する。 カリキュラム評価委員会での指摘を受け、令和 5 年度に医学教育研修センター医学教育会議で検討を行う。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13 資料 8：本学カリキュラムにおける学修課題の検討について
令和 5 (2023)	医学教育研修センター医学教育会議で検討を行った。	臨床医学領域で取り入れるべき学修課題を引き続き検討する。	

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

(評価受審年度 2020 (令和 2) 年)

項目	評価項目	質的向上のための水準
2. 教育プログラム	2. 6 教育プログラムの構造、構成と教育期間	判定：部分的適合

改善のための示唆
・基礎医学において水平的統合を進めることが望まれる。 ・学生が臨床医学において、基礎医学、行動科学および社会医学の重要性を認識できるように、垂直的統合を重視したカリキュラムを組むことが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・令和 3 年度から施行された新カリキュラムにおける科目は、基礎医学・臨床医学における水平・垂直統合を重視して構築されている。 ・令和 2 年度入学生より実施している新カリキュラムにおいて、基礎系の解剖学と臨床系の画像医学を垂直統合した。	定期的に実施した科目の見直しを行い、更に基礎医学・臨床医学における水平・垂直統合を進めていく。	資料 2：履修チャート 資料 8：シラバス（解剖学）
令和 4 (2022)	・基礎医学・臨床医学における水平・垂直統合を重視して構築されている。 ・新カリキュラム科目の糖尿病・内分泌・代謝、泌尿器、頭頸部等の垂直統合に向け検討している。	水平・垂直統合を十分に機能させるため、既に終了した講義については内容再検討の機会を設け、次年度に向けて授業を見直し、これから実施する講義では基礎・臨床が互いの授業を聴講し、相互理解及び授業ブラッシュアップに努める。	資料 4：医学部医学科カリキュラムマップ

令和 5 (2023)	水平・垂直統合を十分に機能させるため、 の講義を実施している。	講義内容について検討の機会を作り、ブ ラッシュアップに努める。	資料 10：医学部医学科カリキュラムマ ップ
----------------	------------------------------------	------------------------------------	---------------------------

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
2. 教育プログラム	2. 7 教育プログラム管理	判定：部分的適合

改善のための示唆
・教育協力病院連絡会議だけでなく、医学教育会議に他の医療職、患者代表などを含めることが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	教員と学生以外の広い範囲の教育の関係者の代表が含まれている。	引き続き、現在の委員構成に他の医療職、患者代表などを含めることについて検討する。	資料 9：医学教育研修センター医学教育会議委員名簿
令和 4 (2022)	医学教育会議に教員と学生以外の教育の関係者として、医療職関係者、患者代表を委員に含めることとした。	引き続き、委員構成に他の医療職、患者代表などを含める。	資料 10：医学教育研修センター会議報告_R5.2.2 資料 3：医学教育研修センター医学教育会議委員名簿
令和 5 (2023)	医学教育会議に教員と学生以外の教育の関係者として、医療職関係者、他の医療職、患者代表を委員に含めている。	引き続き、委員構成に他の医療職、患者代表などを含める。	資料 11：医学教育研修センター医学教育会議委員名簿

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

(評価受審年度 2020 (令和 2) 年)

項目	評価項目	基本的水準
3. 学生の評価	3. 1 評価方法	判定：部分的適合

改善のための助言
・低学年から臨床実習にわたり、技能および態度についての評価を行うべきである。 ・進級判定会議だけでなく、評価における利益相反を防ぐための規則を定めるべきである。 ・学内で行われる評価が試験出題者以外の教育者によって吟味される仕組みを構築すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・医学概論Ⅰ・Ⅱにおいて態度を評価しているが、技能評価について実施されていない。 ・各授業の点検・評価の記録をカリキュラム評価委員会で確認している。 ・准講会で卒業試験問題をブラッシュアップしている。	評価における利益相反を防ぐための規則を検討する。	資料 6：シラバス（医学概論Ⅰ） 資料 10：シラバス（医学概論Ⅱ） 資料 11：教育の内部質保証システムの点検・検討の記録 資料 12：令和 4 年度卒業試験のブラッシュアップのお願い
令和 4 (2022)	・令和 5 年度実施の医学概論Ⅱにおいて、心肺蘇生法実習で技能を評価することとした。 ・試験内規で 3 親等以内の親族が在学中の教員は進級・卒業判定会議に参加できないこと、また、進級・卒業判定会議の構成員が各科目の教員と医学教育研修センター会	卒業試験問題に加えて、総合試験問題についても出題者以外がチェックする仕組みを検討する。	資料 11：シラバス（医学概論Ⅱ） 資料 12：信州大学医学部医学科履修及び試験内規 資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13 資料 13：令和 4 年度卒業試験のブラッシュアップのお願い

	議教員であること、及び進級・卒業判定会議の議を経て医学科会議に諮ることを定めている。 ・引き続き、各授業の点検・評価の記録をカリキュラム評価委員会で確認している。 ・引き続き、准講会で卒業試験問題をブラッシュアップしている。		
令和 5 (2023)	・総合試験は、出題者以外に医学教育研修センターでチェックを行っている。 ・引き続き、各授業の点検・評価の記録をカリキュラム評価委員会で確認している。 ・引き続き、准講会で卒業試験問題をブラッシュアップしている。	看護体験実習を 3 年生でもうけ、態度教育・評価を行うことを検討している。	資料 12：試験問題作成依頼 資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R6.3.27 資料 13：令和 5 年度卒業試験のブラッシュアップのお願い

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
3. 学生の評価	3. 1 評価方法	判定：部分的適合

改善のための示唆
・学内で行われる評価に関し、その信頼性と妥当性を検証することが望まれる。 ・評価の公平性および質を高めるために、外部評価者の活用を進めることが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	内部評価点検により、カリキュラム評価委員会にて全授業の評価の信頼性・妥当性を検証している。	信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価実施手順に基づき、点検・評価を行う。	資料 13：信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価実施手順
令和 4 (2022)	各授業の点検・評価の記録をカリキュラム評価委員会（高等教育研究センター等医学部教員以外も参加の会議）で確認している。	引き続き、信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価実施手順に基づき、点検・評価を行う。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13 資料 14：教育の内部質保証システムの点検・検討の記録
令和 5 (2023)	各授業の点検・評価の記録をカリキュラム評価委員会（高等教育研究センター等医学部教員以外も参加の会議）で確認している。	引き続き、信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価実施手順に基づき、点検・評価を行う。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R6.3.27 資料 14：教育の内部質保証システムの点検・検討の記録

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
3. 学生の評価	3. 2 評価と学修との関連	判定：部分的適合

改善のための助言
・ 学生が信州大学医学部医学科のコンピテンシーを、低学年から臨床実習にわたって段階的に獲得していることを保証する評価システムを構築すべきである。 ・ 形成的評価を適切に用い、学生が自らの成長に気づく評価を構築すべきである。 ・ 「クリニカルクラークシップⅡ実習評価票」の結果を形成的評価として用い、学生が臨床実習を通じて確実に能力を獲得できる評価法にしていくべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・ コンピテンシーの達成状況を把握するための項目を授業アンケートに追加することとした。 ・ 学生が自らの成長に気づく評価の構築について、検討中である。 ・ 学生が臨床実習を通じて確実に能力を獲得できる評価法について、検討中である。	・ カリキュラム評価委員会等において、引き続き、教育内容、評価の見直し改善を行う。 ・ 学生が自らの成長に気づく評価として、レーダーチャートの作成に向け検討する。 ・ 学生が臨床実習を通じて確実に能力を獲得できる評価法について、引き続き検討する。	資料 14：R4 学生による授業アンケート
令和 4 (2022)	カリキュラム評価委員会等において、引き続き、教育内容、評価の見直し改善を行った。	・ 学生が自らの成長に気づく評価として、レーダーチャートの作成に向け、引き続き検討する。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13 資料 15：医学教育研修センター会議報

	・学生が自らの成長に気づく評価として、レーダーチャートの作成に向け、DP、CPとの関連性を確認し、カリキュラム・ポリシーと実際に行われている教育との整合性をさらに高め、カリキュラムマップを作成した。	・学生が臨床実習を通じて確実に能力を獲得できる評価法について、引き続き検討する。	告_R4.8.8 資料4：医学部医学科カリキュラムマップ
令和5 (2023)	・カリキュラム評価委員会等において、引き続き、教育内容、評価の見直し改善を行った。 ・半期ごとのカリキュラムアンケートにおいて、コンピテンシーを入れ、振り返りを促している。	・学生が臨床実習を通じて確実に能力を獲得できる評価法について、評価項目を見直し、学生に開示することにより形成的評価に用いる様式を整える。	資料7：カリキュラム評価委員会会議報告_R6.3.27 資料15：医学医学科カリキュラムアンケート

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
3. 学生の評価	3. 2 評価と学修との関連	判定：部分的適合

改善のための示唆
・ 基本的知識の修得と統合的学修を促進するために、試験の回数と特性を適正化することが望まれる。 ・ 学生に対して、評価結果に基づいた時機を得た、具体的、建設的、そして公正なフィードバックを行うことが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・ 新カリキュラムにおいて、小テスト、中間テストなど複数の評価方法を用いて行うよう定めた。	・ 学生への適正な評価及びフィードバック方法を引き続き検討する。	資料 15：新カリキュラム科目シラバス 記入上の注意点
令和 4 (2022)	・ 新カリキュラムにおいて、小テスト、中間テストなど複数の評価方法を用いて行うよう継続的に依頼している。 ・ 履修及び試験内規の試験期間の定めを改正した。	学生への適正な評価及びフィードバック方法を引き続き検討する。	資料 16：新カリキュラム科目シラバス 記入上の注意点 資料 12：信州大学医学部医学科履修及び試験内規
令和 5 (2023)	・ 新カリキュラムにおいて、小テスト、中間テストなど複数の評価方法を用いて行うよう継続的に依頼している。	学生へフィードバックに関して、図書館で実施しているピアサポの活用について模索する。	資料 16：新カリキュラム科目シラバス 記入上の注意点

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

(評価受審年度 2020 (令和 2) 年)

項目	評価項目	質的向上のための水準
4. 学生	4. 1 入学方針と入学選抜	判定：適合

改善のための示唆
・アドミSSION・ポリシーと他の2つのポリシーとの整合性を図り、十分な討論に基づいて定期的に見直すことが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和3 (2021)	ディプロマサプリメント発行のため、ディプロマ・ポリシーの整理、カリキュラムマップ作成の検討を進めている。	他2つのポリシーに変更があり次第、見直しを行う予定である。	
令和4 (2022)	ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを整理し、カリキュラムマップを作成した。	今後、アドミSSION・ポリシーの見直しを検討していく。	資料15：医学教育研修センター会議報告_R4.8.8 資料7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13 資料4：医学部医学科カリキュラムマップ
令和5 (2023)	全学アドミSSION・ポリシーの修正を受け、学部アドミSSION・ポリシーの見直し・字句修正等を行った。	今後、アドミSSION・ポリシーと他の2つのポリシーとの整合性を確認していく。	資料17 (部外秘)：入学試験委員会_諸会議報告_2023.9.6-11

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
4. 学生	4. 3 学生のカウンセリングと支援	判定：適合

改善のための助言
・学修上の問題に対するカウンセリング制度を拡充するために、より多くの教職員が学生支援に関与すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	本学科独自の縦系横系の担任制度（グループ担任、学年担任）、更には医学教育研修センター、学務第 1 係が関与している。	今後も制度を維持・改善に努め、より多くの教職員が学生支援に関与していく。	資料 16：信州大学医学部医学科グループ制度に関する内規 資料 17：令和 4 年度学年担当制度の学年担当教授・教室
令和 4 (2022)	本学科独自の縦系横系の担任制度（グループ担任、学年担任）、更には医学教育研修センター、学務第 1 係が関与し、引き続き実施している。	今後も制度を維持・改善に努め、より多くの教職員が学生支援に関与していく。	資料 17：信州大学医学部医学科グループ制度に関する内規 資料 18：令和 5 年度学年担当制度の学年担当教授・教室
令和 5 (2023)	本学科独自の縦系横系の担任制度（グループ担任、学年担任）、更には医学教育研修センター、学務第 1 係が関与し、引き続き実施している。	今後も制度を維持・改善に努め、より多くの教職員が学生支援に関与していく。 図書館のピアサポの活用について、関係組織と連携を進める。	資料 18：信州大学医学部医学科グループ制度に関する内規 資料 19：令和 6 年度学年担当制度の学年担当教授・教室

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

(評価受審年度 2020 (令和 2) 年)

項目	評価項目	質的向上のための水準
4. 学生	4. 3 学生のカウンセリングと支援	判定：部分的適合

改善のための示唆
・学生の教育段階における学修上の問題点を抽出し、それに応じたカウンセリングを提供することが望まれる。 ・信州大学医学部医学科におけるキャリアガイダンス、キャリアプランニングを定義し、実行することが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・医学教育研修センターにおいてすべての学生の成績情報を把握している。また、成績不振者においてはチューター制度を設けている。 ・卒後研修担当教員がキャリアガイダンスを行い、適宜、個別相談に応じて、キャリアプランニングについてのカウンセリングを行っている。また、医学概論 I でキャリアガイダンスを実施した。	・学生の教育段階における学修上の問題点を抽出し、それに応じたカウンセリングについて検討する。 ・4 年生のキャリアガイダンスの実施を検討する。	資料 6：シラバス（医学概論 I） 資料 18：令和 4 年度医学部医学科ガイダンス日程 資料 19：4 年次生成績不良者のチューター
令和 4 (2022)	・医学教育研修センターにおいてすべての学生の成績情報を把握し、成績不振者においてはチューター制度を設けている。また、留年生から「学習計画書」を提出させ指導している。 ・引き続き、卒後研修担当教員が各学年に	・修学上の問題がある学生をより早く抽出する方法について検討する。 ・学生の教育段階における学修上の問題点を抽出し、それに応じたカウンセリングについて引き続き検討する。	資料 19：授業担当教員・グループ担任への送付文 資料 9：シラバス（医学概論 I） 資料 20：令和 4 年度医学部医学科ガイダンス日程

	においてキャリアガイダンスを行い、適宜、個別相談に応じて、キャリアプランニングについてのカウンセリングを行っている。 また、医学概論Ⅰでキャリアガイダンスを実施した。		
令和5 (2023)	・医学教育研修センターにおいてすべての学生の成績情報を把握し、成績不振者においてはチューター制度を設けている。また、留年生から「学習計画書」を提出させ指導している。 ・引き続き、卒後研修担当教員が各学年においてキャリアガイダンスを行い、適宜、個別相談に応じて、キャリアプランニングについてのカウンセリングを行っている。 また、医学概論Ⅰでキャリアガイダンスを実施した。	・修学上の問題がある学生をより早く抽出する方法について検討する。 ・学生の教育段階における学修上の問題点を抽出し、それに応じたカウンセリングについて引き続き検討する。	資料9：シラバス（医学概論Ⅰ） 資料20：令和5年度医学部医学科ガイダンス日程 資料21：R5 信州大学臨床研修プログラム説明会

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
4. 学生	4. 4 学生の参加	判定：部分的適合

改善のための助言
・教育プログラムの策定、管理、評価への学生の参画を実質化すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	教育プログラムの検討、策定は医学教育研修センター医学教育会議で行っており、学生が参加し関与している。また、評価はカリキュラム評価委員会に学生が参加し関与している。	引き続き、学生の参画を継続する。	資料 9：医学教育研修センター医学教育会議委員名簿 資料 20：医学部医学科カリキュラム評価委員会名簿
令和 4 (2022)	引き続き、教育プログラムの検討、策定は医学教育研修センター医学教育会議で行っており、学生が参加し関与している。また、評価はカリキュラム評価委員会に学生が参加し関与している。	引き続き、学生の参画を継続する。	資料 3：医学教育研修センター医学教育会議委員名簿 資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13 資料 21：医学部医学科カリキュラム評価委員会名簿
令和 5 (2023)	引き続き、教育プログラムの検討、策定は医学教育研修センター医学教育会議で行っており、学生が参加し関与している。また、評価はカリキュラム評価委員会に学生が参加し関与している。	引き続き、学生の参画を継続する。	資料 22：懇談会開催通知および学生からの意見書 資料 23：R5 医学部医学科カリキュラム評価委員会名簿

	医学科学生会と学部長との懇談会を実施した。		
--	-----------------------	--	--

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
4. 学生	4. 4 学生の参加	判定：適合

改善のための示唆
・学生の地域社会との交流をさらに奨励することが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	ボランティア活動、文化活動、社会活動、スポーツ活動において、優れた功績を収めた学生への表彰を行う制度があり、地域社会との交流を促している。	引き続き地域社会との交流を奨励していく。	資料 21：長野県医師会長賞に関する申合せ 資料 22：父母会創設 7 人賞に関する申合せ
令和 4 (2022)	ボランティア活動、文化活動、社会活動、スポーツ活動において、優れた功績を収めた学生への表彰を行う制度に基づき、本年度も複数名の表彰を行った。	引き続き、地域社会との交流を奨励していく。	
令和 5 (2023)	ボランティア活動、文化活動、社会活動、スポーツ活動において、優れた功績を収めた学生への表彰を行う制度に基づき、本年度も複数名の表彰を行った。 医学科学生による地域の中学生・高校生へのキャリア教育を実施した。	引き続き、地域社会との交流を奨励していく。	資料 24：資料 19_2023 年中学生・高校生へのキャリア教育

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
5. 教員	5. 1 募集と選抜方針	判定：適合

改善のための助言
・カリキュラムを適切に実施するための教員募集方針を明確化すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	公募にあたり、「在り方ワーキング」を開催して、事後の教育、研究、診療のバランスを考慮した上で、当該教授職の継続や廃止を決定しているが、カリキュラムを適切に実施するための教員方針の明確化には至っていない。	今後、カリキュラムの適切な実施するための教員募集方針について、在り方ワーキング等で検討する。	
令和 4 (2022)	カリキュラムを適切に実施するための教員募集方針について、在り方ワーキング等で検討している。	引き続き、カリキュラムを適切に実施するための教員募集方針について、在り方ワーキング等で検討する。	
令和 5 (2023)	カリキュラムを適切に実施するための教員募集方針について、在り方ワーキング等で検討している。	引き続き、カリキュラムを適切に実施するための教員募集方針について、在り方ワーキング等で検討する。	

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
5. 教員	5. 2 教員の活動と能力開発	判定：適合

改善のための助言
・各教員の教育、研究、診療、社会貢献、管理運営のエフォート率を組織的に管理し、各業務の円滑な遂行を図るべきである。 ・全ての教員がカリキュラム全体を理解する方針を策定し履行すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・シラバスを通じてカリキュラム全体を把握するとともに、各授業の内容も確認することができきる仕組みとなっており、その内容は医学科教育研修センター医学教育会議、卒後臨床研修管理委員会で全教員に周知されている。	・全ての教員がカリキュラム全体を理解する方針を策定し履行することを引き続き検討する。	資料 23：信州大学医学部・医学部附属病院医学教育研修センター医学教育会議細則 資料 24：信州大学医学部・医学部附属病院医学教育研修センター卒後臨床研修管理委員会細則 資料 25：シラバス入力フォーマット
令和 4 (2022)	医学教育会議において、DP、CP との関連性を確認し、カリキュラム・ポリシーと実際に行われている教育との整合性をさらに高め、カリキュラムマップを作成し、大学の構成者、関係者へ明示した。	全ての教員がカリキュラム全体を理解する方針を策定し履行することを引き続き検討する。	資料 1：医学教育研修センター会議報告_R4.12.1
令和 5 (2023)	・すべての授業において、カリキュラムの中での位置づけを明確化している。 ・ディプロマ・ポリシーに対する寄与度を	・全ての教員がカリキュラム全体を理解する方針を策定し履行することを引き続き検討する。	資料 10：医学部医学科カリキュラムマップ 資料 9：「医学概論 I」シラバス

	すべての授業において入力している。		
--	-------------------	--	--

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

(評価受審年度 2020 (令和 2) 年)

項目	評価項目	基本的水準
6. 教育資源	6. 1 施設・設備	判定：適合

改善のための助言
・学生の自己学習、授業でのグループ討論を促進するために、小グループ学習室の拡充を検討すべきである。 ・学生の自己学習推進のために、キャンパス内のコンピュータを十分に整備すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・PC ルームを整備し、CBT 試験の利用を可能とした。 ・既存のミーティングルーム等に加え、医学部臨床研究棟にチュートリアルルームを整備した。	・P Cルームの授業での有効活用を図る。 ・整備したチュートリアルルームの有効活用を図る。	資料 26：チュートリアルルーム設置図
令和 4 (2022)	・チュートリアルルームを有効に活用した。 ・PC については、機器更新に伴う費用対効果を考慮し、大学推奨の PC を学生が購入することで対応し、ネットワーク環境の強化を行った。	整備したチュートリアルルームの有効活用を図る。	資料 22：令和 4 年度チュートリアルルーム (A,B,C) 利用状況 資料 23：学生購入用推奨コンピュータについて 資料 24：ネットワーク環境整備
令和 5 (2023)	・整備したチュートリアルルームを有効に活用した。 ・講義棟改修においてグループ学習室の拡充を検討する。	・講義棟改修においてグループ学習室の拡充を要望する。	資料 25：令和 5 年度チュートリアルルーム (A,B,C) 利用状況 資料 26：研修室利用について。

	・臨床実習生が利用可能な PC が、医療情報部に 24 台あり、平日 8 時から 18 時の間で利用可能である。		
--	--	--	--

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

(評価受審年度 2020 (令和 2) 年)

項目	評価項目	質的向上のための水準
6. 教育資源	6. 1 施設・設備	判定：適合

改善のための示唆
・ 今後の教育実践の変化（能動的学修機会の増加、ICT 利用授業の活用など）を想定し、教育施設の拡充方針を策定することが望まれる。 ・ 他学部や多職種の医療系学生が同一キャンパスに集う特性を教育上の利点にしていくことが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・ 2 教室のネットワーク環境を整備した。	・ 今後もネットワーク等の教育施設の環境整備を行う予定。	資料 27：ネットワーク環境整備
令和 4 (2022)	昨年度に引き続き、更に 2 教室のネットワーク環境を整備した。	講義棟の改修を見据え、必要な教育施設の整備について検討する。	資料 24：ネットワーク環境整備
令和 5 (2023)	講義棟の改修において、必要な教育施設の整備の検討を行った。 昨年度に引き続き、更に 2 教室のネットワーク環境を整備した。	講義棟の改修を必要な教育施設の整備の要望を出した。	資料 27：ネットワーク環境整備

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
6. 教育資源	6. 2 臨床実習の資源	判定：部分的適合

改善のための助言	
・教育病院・施設の「患者数と疾患分類」を分析して、学生がどのような臨床体験ができるかを検討し、全ての学生が学修成果を到達できるための教育資源として教育病院・施設を整備して学生に提供すべきである。 ・1 年次早期体験実習に用いる実習施設（高齢者施設、障害者施設など）の特性を調査し、その結果をカリキュラム作成に利用すべきである。 ・臨床体験の場として海外 15 施設の特性を把握すべきである。	

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・教育病院・施設の「患者数と疾患分類」を分析まで至っていない。 ・1 年次早期体験実習に用いる実習施設の特性の調査まで至っていない。 ・臨床体験の場として海外 15 施設の特性を把握まで至っていない。	それぞれの分析、調査、把握を随時進めていく。	
令和 4 (2022)	実施施設の特性調査について検討した。	実習施設の理念・病床数・外来患者数・特徴・患者の特徴等、特性の調査を開始する。	
令和 5 (2023)	実習施設の理念・病床数・外来患者数・特徴・患者の特徴等、特性の調査を行った。	調査結果をもとに、臨床実習のコース内容を反映させる。	資料 20：病院案内作成フォーマット

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

(評価受審年度 2020 (令和 2) 年)

項目	評価項目	基本的水準
6. 教育資源	6. 3 情報通信技術	判定：適合

改善のための助言
・ キャンパス内の学生用コンピュータを増やし、インターネットやその他の電子媒体へのアクセスを改善すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・ 通信速度の遅い講義室の無線 LAN を更新し、通信速度を改善した。	・ 講義室の通信環境を随時改善して行く。	資料 27：ネットワーク環境整備
令和 4 (2022)	PC については、機器更新に伴う費用対効果を考慮し、毎年、大学推奨の PC を学生が購入することで対応している。また、昨年度に引き続き、更に 2 教室のネットワーク環境の強化を行った。	通信環境についての学生アンケートを行い、改善に努めていく。	資料 23：学生購入用推奨コンピュータについて 資料 24：ネットワーク環境整備
令和 5 (2023)	講義棟の改修において、必要な教育施設の整備の検討を行った。 昨年度に引き続き、更に 2 教室のネットワーク環境を整備した。	講義棟の改修を必要な教育施設の整備の要望を出した。	資料 27：ネットワーク環境整備

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

(評価受審年度 2020 (令和 2) 年)

項目	評価項目	質的向上のための水準
6. 教育資源	6. 3 情報通信技術	判定：適合

改善のための示唆
・「eALPS」のような自己学習ツールの機能をさらに活用することが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	学生からの要望に対応し、引き続き確実なアップロードを目指して医学教育センター医学教育会議において啓発していく。 また、オンライン授業の F D を実施した。	医学教育 F D を引き続き行い、活用を促していく。	資料 28：FD_オンライン授業
令和 4 (2022)	各教員へ eALPS 研修会の開催を案内し、活用を促している。	引き続き、各教員へ eALPS 研修会等を案内し、活用を促していく。	資料 25：eALPS 研修会の開催について (通知)
令和 5 (2023)	各教員へ eALPS 研修会の開催を案内し、活用を促している。	・引き続き、各教員へ eALPS 研修会等を案内し、活用を促していく。 ・eALPS (moodle) の改修を予定している。 ・eALPS 活用の F D の実施を予定する。	資料 29：eALPS 研修会の開催について (通知)

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

(評価受審年度 2020 (令和 2) 年)

項目	評価項目	基本的水準
7. 教育プログラム評価	7. 1 教育プログラムのモニタと評価	判定：部分的適合

改善のための助言
・2019 年に定めた信州大学医学部医学科のコンピテンシーに関する学修成果のデータを定期的に収集し、教育プログラムをモニタする仕組みを構築すべきである。 ・教育プログラムをモニタする仕組みを用いて、カリキュラムとその主な構成要素、学生の進歩、および課題の特定に関して分析を行い、評価結果をカリキュラムに反映させるべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・教育の質保証のためのプロセス管理を確認するために点検・検討の記録をしている。その記録について、各授業担当教員に授業が自己評価し、その結果をカリキュラム評価委員会で確認している。	・カリキュラムとその主な構成要素、学生の進歩、および課題の特定に関して分析を行い、評価結果をカリキュラムに反映させる。	資料 29：医学教育研修センター医学教育会議報告_R4.3.22 資料 30：教育の内部質保証システムの点検・検討の記録様式 資料 11：教育の内部質保証システムの点検・検討の記録
令和 4 (2022)	・全学の授業アンケート項目にコンピテンシーに関する項目を加え、データを定期的に収集する仕組みを整えた。 ・昨年に引き続き、各授業担当教員が授業を自己評価し、その結果をカリキュラム評価委員会で確認している。	引き続きデータを収集し、カリキュラムとその主な構成要素、学生の進歩、および課題の特定に関して分析を行い、評価結果をカリキュラムに反映させる。	資料 26：授業アンケート部局別追加項目一覧（医学部医学科） 資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13 資料 14：教育の内部質保証システムの点検・検討の記録
令和 5	・昨年に引き続き、各授業担当教員が授業	引き続きデータを収集し、カリキュラム	資料 7：カリキュラム評価委員会会議

(2023)	を自己評価し、その結果をカリキュラム評価委員会で確認している。	とその主な構成要素、学生の進歩、および課題の特定に関して分析を行い、カリキュラム評価委員会で評価する。	報告_R6.3.27 資料 14：教育の内部質保証システムの点検・検討の記録
--------	---------------------------------	---	---

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
7. 教育プログラム評価	7. 1 教育プログラムのモニタと評価	判定：部分的適合

改善のための示唆	
・教育プログラムをモニタする仕組みを用いて、コンピテンシーに関する学修成果のデータを定期的に収集し、信州大学医学部医学科におけるこれまでの教育実践について、教育活動とそれが置かれた状況、カリキュラムの特定の構成要素、長期間で獲得される学修成果、および社会的責任の視点で包括的に評価することが望まれる。	

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	教育の質保証のためのプロセス管理を確認するために点検・検討の記録を作成している。その記録について、各授業担当教員が授業を自己評価し、その結果をカリキュラム評価委員会で確認している。	コンピテンシーに関する学修成果を定期的に収集し、信州大学医学部医学科におけるこれまでの教育実践について、包括的に評価するための準備を進める。	資料 29：医学教育研修センター医学教育会議報告_R4.3.22
令和 4 (2022)	・全学の授業アンケート項目にコンピテンシーに関する項目を加え、データを定期的に収集する仕組みを整えた。 ・昨年度に引き続き、各授業担当教員が授業を自己評価し、その結果をカリキュラム評価委員会で確認している。	引き続きデータを収集し、カリキュラムとその主な構成要素、学生の進歩、および課題の特定に関して分析を行い、評価結果をカリキュラムに反映させる。	資料 26：授業アンケート部局別追加項目一覧（医学部医学科） 資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13 資料 14：教育の内部質保証システムの点検・検討の記録
令和 5 (2023)	・全学の授業アンケート項目にコンピテンシーに関する項目を加え、データを定期的に収集している。	引き続きデータを収集し、カリキュラムとその主な構成要素、学生の進歩、および課題の特定に関して分析を行い、評価	資料 3：「授業アンケート」集計結果 資料 14：教育の内部質保証システムの点検・検討の記録

	・昨年度に引き続き、各授業担当教員が授業を自己評価し、その結果をカリキュラム評価委員会で確認している。	結果をカリキュラムに反映させる。	
--	---	------------------	--

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
7. 教育プログラム評価	7. 2 教員と学生からのフィードバック	判定：部分的適合

改善のための助言
・教育プログラム評価のためのデータとして、教員と学生からのフィードバックを系統的に求め、分析すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	学年ごとにアンケートを実施し、分析をしている。	教員へのアンケートの実施について、検討する。	資料 31：令和 3 年度医学教育についてのアンケート（2 年～6 年）
令和 4 (2022)	引き続き、学年ごとにアンケートを実施し、分析をしている。	全学で実施している「教員による授業評価」をプログラム評価に活用することについて検討する。	資料 27：令和 4 年度医学教育についてのアンケート（2 年～6 年） 資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13
令和 5 (2023)	引き続き、学年ごとにアンケートを実施し、分析をしている。	全学で実施している「教員による授業評価」をプログラム評価に活用することについて検討する。	資料 15_令和 5 年度医学教育についてのアンケート（2 年～6 年）

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
7. 教育プログラム評価	7. 2 教員と学生からのフィードバック	判定：部分的適合

改善のための示唆
・教員と学生からのフィードバックのデータを活用し、教育プログラムの改善を行うことが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	1, 2 年生を対象としたアンケートを行い生物系授業の在り方について分析、検討し、教育プログラムを改善した。	高校で生物を履修していない学生への支援方法について、今後も継続的に検討する。	資料 4：カリキュラム評価委員会会議報告_R03.9.27 資料 5：カリキュラム評価委員会会議報告_R4.03.14
令和 4 (2022)	カリキュラム評価委員会において検討した。	高校で生物を履修していない学生への支援方法について、今後も継続的に検討する。	資料 28：カリキュラム評価委員会会議報告_R4.8.25
令和 5 (2023)	高校で生物を履修していない学生と履修した学生の大学入学後の成績を比較し、支援方法について、検討し、ヒト生物学の授業の内容変更により対応することとした。	高校で生物を履修していない学生への支援方法について、今後も継続的に検討する。	資料 7：カリキュラム評価委員会議事録（R6.03.27）

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
7. 教育プログラム評価	7. 3 学生と卒業生の実績	判定：部分的適合

改善のための助言
・教育プログラムをモニタする仕組みを用いて、コンピテンシーに関する学修成果のデータ、および学生と卒業生の実績を定期的に収集し、使命、学修成果、カリキュラム、資源の提供の視点で分析すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	教育の質保証のためのプロセス管理を確認するために点検・検討の記録をしている。 その記録について、各授業担当教員が授業を自己評価し、その結果をカリキュラム評価委員会で確認している。	コンピテンシーに関する学修成果のデータ等の情報収集に努め、分析のするための準備を進める。	資料 29：医学教育研修センター医学教育会議報告_R4.3.22
令和 4 (2022)	引き続き、教育の質保証のためのプロセス管理を確認するために点検・検討の記録を行い、各授業担当教員が授業を自己評価し、その結果をカリキュラム評価委員会で確認した。	・引き続き、コンピテンシーに関する学修成果のデータ等の情報収集に努め、分析の準備を進める。 ・全学で実施する卒業生・修了生アンケート（6年に1回実施）の部局独自項目の内容を検討する。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13 資料 14：教育の内部質保証システムの点検・検討の記録
令和 5 (2023)	引き続き、教育の質保証のためのプロセス管理を確認するために点検・検討の記録を行い、各授業担当教員が授業を自己評価し、その結果をカリキュラム評価委員会で	・全学で実施する卒業生・修了生アンケート（6年に1回実施）の部局独自項目の内容を検討する。	資料 6：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.8.30 資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R6.3.27

	確認した。 ・コンピテンシーに関する学修成果のデータ等の情報収集に努め、分析結果をカリキュラム評価委員会で報告した。 ・県内で研修を行っている卒業生へのインタビューを実施し、取りまとめた。		
--	--	--	--

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
7. 教育プログラム評価	7. 3 学生と卒業生の実績	判定：部分的適合

改善のための示唆
・教育プログラム評価のために、学生と卒業生の実績を、背景と状況、入学時成績の視点で分析することが望まれる。 ・学生の実績について分析した結果を、入試委員会、カリキュラム立案の委員会、および学生支援のための委員会にフィードバックすることが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	学校推薦型選抜の在り方ワーキング・グループを立ち上げた。	ワーキング・グループにおいての分析を進める。	資料 32：医学科執行部会議報告 _R4.5.23
令和 4 (2022)	学校推薦型選抜の在り方ワーキング・グループにおいて分析・検討を行った。	ワーキング・グループにおける分析・検討結果に基づき、募集枠・募集人員について見直しを行う。	資料 29：学校推薦型選抜の在り方 WG 資料（抜粋）_R4.7.20
令和 5 (2023)	地域枠の人数見直しおよび募集地域の見直しを行った。	学校推薦型選抜入学者の成績の情報収集及び分析を進め、推薦入試員会に報告する。	資料 30_R06 学校推薦型選抜募集要項

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
7. 教育プログラム評価	7. 4 教育の関係者の関与	判定：部分的適合

改善のための示唆
・教育プログラムをモニタする仕組みを用いて収集・分析したプログラム評価の結果を広い範囲の教育の関係者に提示し、卒業生の実績やカリキュラムに対するフィードバックを求めることが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	カリキュラム評価委員会、教育協力病院連絡会議において、卒業生の実績に対するフィードバックが行われている。	今後、カリキュラム評価委員会において、プログラム評価を行い、その結果を教育関係者に提示し、卒業生の実績やカリキュラムに対するフィードバックを求めていく。	資料 33：信州大学医学部・医学部附病院医学教育研修センター教育協力病院連絡会議細則
令和 4 (2022)	カリキュラム評価委員会において、カリキュラムに対するフィードバックが行われている。	医学教育研修センター教員が実習先病院の卒業生から聞き取りを行う。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13
令和 5 (2023)	医学教育研修センター教員が実習先病院の卒業生から聞き取りを行った。 昨年度に引き続き、カリキュラム評価委員会において、カリキュラムに対するフィードバックが行われている。	カリキュラム評価委員会、教育協力病院連絡会議において、卒業生の実績に対するフィードバックを行う。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R6.3.27

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
8. 統轄および管理運営	8. 1 統轄	判定：部分的適合

改善のための助言	
・カリキュラムの策定・実施を「医学教育研修センター医学教育会議」が担当し、プログラム評価をカリキュラム評価委員会が行うこととなっているが、それぞれの組織の規定での役割権限・責任権限が曖昧なため、どの組織がどこまでの権限で何を行うのかを明確にすべきである。 ・使命の策定、教育の実施、次年度カリキュラムの策定、学修成果データの解析と医学部の使命との検討を基盤に、将来的なカリキュラムのあり方を検討する組織体制を明確にすべきである。	

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・カリキュラムの策定・実施に関しては、医学教育センター医学教育会議が担当し、その評価をカリキュラム評価委員会が行い、学部長に対して改善要求する仕組みとなっている。また、信州大学医学部自己点検・評価に関する内規を制定した。	権限の明確化、組織体制の明確化について検討を進める。	資料 23：信州大学医学部・医学部附病院医学教育研修センター医学教育会議細則 資料 34：信州大学医学部自己点検・評価に関する内規 資料 35：信州大学医学部医学科カリキュラム評価委員会内規
令和 4 (2022)	権限の明確化、組織体制の明確化に至っていないが、令和 5 年度の執行部の新体制に伴い、引き続き、検討する。	引き続き、権限の明確化、組織体制の明確化について検討を進める。	資料 30：医学教育関係組織図
令和 5 (2023)	引き続き、権限の明確化、組織体制の明確化について検討する。	引き続き、権限の明確化、組織体制の明確化について検討を進める。	

		医学教育研修センター会議において、カリキュラム評価委員会の権限の明確化を進める。	
--	--	--	--

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
8. 統轄および管理運営	8. 1 統轄	判定：適合

改善のための示唆
・その他の教育の関係者の意見が、教育に関わる組織・委員会に提案されていることを記録に残すことが望まれる。 ・教育に関わる組織・委員会の決定事項や決定プロセスの公開に関する方針を定めることが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	・カリキュラム評価委員会からの評価に従って、次年度の改善プログラムを各委員会で検討する体制ができており、その他の教育の関係者からの意見も十分反映されている。 ・信州大学と山梨大学で第 1 回の医学教育検討会を開催し意見交換を行った。	・その他の教育の関係者から出た意見が反映されるような体制を引き続き維持する。 ・引き続き統轄業務とその決定事項のさらなる透明性の確保に努めていく。	資料 35：信州大学医学部医学科カリキュラム評価委員会内規 資料 36：信州大学医学部教授会規程 資料 37：信州大学医学部医学科会議内規 資料 38：第 1 回信州大学・山梨大学医学教育検討会開催通知_R3.11.18
令和 4 (2022)	前年度に引き続き、信州大学と山梨大学で医学教育検討会を開催し意見交換を行った。	提案者を明確にして記録に残していくようにする。	資料 31：第 2 回信州大学・山梨大学医学教育検討会レジュメ_R4.12.27
令和 5 (2023)	引き続き、カリキュラム評価委員会において、その他の教育の関係者に参加いただいている。	信州大学と山梨大学で医学教育検討会の施を計画する。	

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
8. 統轄および管理運営	8. 2 教学のリーダーシップ	判定：適合

改善のための助言
・学長、医学部長等の権限は定まっているが、教育に関わる組織・委員会の規程での役割権限・責任権限を明確化すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	国立大学法人信州大学の内部質保証に関する申し合わせに基づき、信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価実施手順を定めた。	医学部医学科カリキュラム評価委員会は医学科の教育課程の事項について、点検・評価を行い、医学科長及び医学科会議はその提言を踏まえて、教育課程の改善を行う。	資料 13：信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価実施手順
令和 4 (2022)	信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価実施手順に基づき、実施した。	今後も、医学部医学科カリキュラム評価委員会は医学科の教育課程の事項について、点検・評価を行い、医学科長及び医学科会議はその提言を踏まえて、教育課程の改善を行う。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13 資料 32：信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価の実施について
令和 5 (2023)	信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価実施手順に基づき、実施した。	医学教育研修センターの業務内容を見直し及びカリキュラム評価委員会の立ち位置の確認を行い、現状の状態でよいか確認を行う。	

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	質的向上のための水準
8. 統轄および管理運営	8. 2 教学のリーダーシップ	判定：適合

改善のための示唆
・教育に関わる組織・委員会の規程での役割権限・責任権限を明確化し、それぞれの委員長の教学への責任（リーダーシップ）を評価することが望まれる。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	国立大学法人信州大学の内部質保証に関する申し合わせに基づき、信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価実施手順を定めた。	医学部医学科カリキュラム評価委員会は医学科の教育課程の事項について、点検・評価を行い、医学科長及び医学科会議はその提言を踏まえて、教育課程の改善を行い、このことについて、今後、評価をしていく。	資料 13：信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価実施手順
令和 4 (2022)	信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価実施手順に基づき、実施した。	医学部医学科カリキュラム評価委員会は医学科の教育課程の事項について、点検・評価を行い、医学科長及び医学科会議はその提言を踏まえて、引き続き、教育課程の改善を行い、このことについて、評価をしていく。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13 資料 32：信州大学医学部医学科における教育課程の点検・評価の実施について
令和 5 (2023)	教育に関わる委員会へ参画している教員への評価項目が教員業績評価に盛り込まれている。	医学部医学科カリキュラム評価委員会は医学科の教育課程の事項について、点検・評価を行い、医学科長及び医学科会	

		議はその提言を踏まえて、引き続き、教育課程の改善を行い、このことについて、評価をしていく。	
--	--	---	--

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
8. 統轄および管理運営	8. 3 教育予算と資源配分	判定：適合

改善のための助言
・教育予算を講座経費と区分し、教育実施のための支出管理を行う制度を整えて行くべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	教育予算を講座経費と区分した。	教育実施のための支出管理を行う制度を検討する。	資料 39：令和 4 年度教室経費配分
令和 4 (2022)	引き続き、教育予算を講座経費と区分し、支出管理を行っている。	今後も、教育予算を講座経費と区分し、支出管理を行う。	資料 33：令和 5 年度教室経費配分【医学科】
令和 5 (2023)	引き続き、教育予算を講座経費と区分し、支出管理を行っている。	今後も、教育予算を講座経費と区分し、支出管理を行う。	

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
8. 統轄および管理運営	8. 4 事務と運営	判定：適合

改善のための助言
・医学教育関連業務の複雑化と煩雑化に対応することを検討すべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	事務部長および各グループリーダーによる 部長・グループリーダーミーティングを行 い、事務部長および各専門グループ間の連 携を強化し、医学教育関連業務へ対応して いる。	医学教育関連業務の複雑化と煩雑化に起 因する課題を挙げ、検討していく。	資料 40：医学部運営機構図
令和 4 (2022)	事務部長および各グループ間の連携を強化 するとともに、担当事務を含めた医学教育 研修センターとの打合せを毎週行い、医学 教育関連業務へ対応している。	医学教育関連業務の複雑化と煩雑化に起 因する課題を挙げ、ワークライフバラン スを踏まえ、対応方法について検討して いく。	
令和 5 (2023)	事務部長および各グループ間の連携を強化 するとともに、担当事務を含めた医学教育 研修センターとの打合せを毎週行い、医学 教育関連業務へ対応している。 事務における共用試験、臨床実習の担当と 業務の見直しを行った	医学教育関連業務の複雑化と煩雑化に起 因する課題を挙げ、ワークライフバラン スを踏まえ、対応方法について検討して いく。	

医学教育分野別評価 信州大学医学部医学科 年次報告書
2024 年度

（評価受審年度 2020（令和 2）年）

項目	評価項目	基本的水準
9. 継続的改良	-	判定：適合

改善のための助言
・継続的改良を行うための体制を充実させ、教育に関連する各組織が有機的に連携して、教育プログラムの継続的な改良を進めるべきである。

年度	改善状況/現在の状況	今後の計画	改善状況を示す根拠資料
令和 3 (2021)	医学教育研修センター医学教育会議を通して、プログラム作成改善を行い、またカリキュラム評価委員会が評価を行っている。	カリキュラムの大幅な見直し、医学教育モデル・コア・カリキュラムの見直しなどを機に改善を検討していく。	資料 23：信州大学医学部・医学部附属病院医学教育センター医学教育会議細則 資料 35：信州大学医学部医学科カリキュラム評価委員会内規
令和 4 (2022)	医学教育研修センター医学教育会議及びカリキュラム評価委員会において、教育プログラムの継続的な改良を進めている。	カリキュラムの大幅な見直し、医学教育モデル・コア・カリキュラムの見直しなどを機に改善を検討していく。	資料 7：カリキュラム評価委員会会議報告_R5.3.13
令和 5 (2023)	医学教育研修センター医学教育会議及びカリキュラム評価委員会において、教育プログラムの継続的な改良を進めている。	大学全体での教育プログラム改善に歩調を合わせつつ、医学教育モデル・コア・カリキュラムに沿った見直し、改善を検討していく。	